「一本松の保存」と「花壇造り」について

この地は昭和 44 年まで福島町と吉原町の共同火葬場のあったところで、平成元年に根上国道が開通したとき、廃場となりその火葬場を庇う(かばう)ように育ってきた松林も害虫や塩害の被害を受けて、とうとう唯一この一本だけになってしまいました。

～古来より先人を偲び(しのび)つつ、
今日まで元気に育ってきた一本松～

平成 26 年 1 月、町内会総会においてこの一本松を福島町のシンボルとして保存することとし、一本松の保存と花壇造りをすることになりました。


平成 26 年当時の一本松

「福島町きらく会」と「一本松きらく園」について

当初は荒地だったので大変でした。町民の皆さんに親しまれ喜んでもらえたらいいとの思いで、楽しみながら頑張ろうと土起こしから始めました。
「福島町きらく会」「一本松きらく園」はそうしたモットーから名付けました。





花苗は町民の方々から頂いたものや「能美市緑化推進事業」による春秋の花苗配布のほか、花苗を育てる会員や造作物をこしらえる会員など会員皆さんの創意工夫が生かされた花壇造りを楽しんでいます。


4 月ポーチュラカ苗を育成中


空き缶風車と PR 看板を制作